トーマス・ピートライ元連邦下院議員　（1979-2015）

1979 年の初当選以降 2015 年まで、ウィスコンシン州第 5 区より 18 期、計 36 年間連邦下院議員を務める。
議員時代は下院運輸インフラ整備委員会及び教育・労働委員会のシニアメンバーとして活動、学生ローン・健康保険や税制改革にも積極的に取り組む。

また 1993 年の米議会日本研究グループ（CSGJ）の創設以来 20 年以上中心メンバーとして、米議会と国会の議員交流の中心的な役割を果たし、2014 年秋、連邦政府における対日理解の促進に寄与した功績を認められ、日本政府より旭日重光章を授与される。
現在は米議会日本研究グループが属する米国議員経験者協会（FMC）の役員を務め、頻繁に各地の大学に赴き元連邦議員としての経験を学生と懇談する活動を行っている。

1962 年にハーバード大学を卒業後、1965 年に同大学法科大学院を修了。1973 年から 1979 年はウィスコンシン州上院議員を務めた。

デニス・ハーテル元連邦下院議員（1981-1993）

1981 年の初当選以降 1993 年まで、ミシガン州第 4 区より 6 期、計 12 年連邦下院議員を務める。
議員時代は下院軍事委員会に所属、同委員会の監査小委員会の委員長を務める。民主党勉強会（Democratic Study Group）の副会長、及びミシガン州選出民主党議員団の幹事としても活動。

議員を退任後、オックスフォード大学をはじめとする欧米の大学にて講演、現在は米国の防衛大学である National Defense University で教鞭をとる。
2010 年から 2011 年は米国議員経験者協会（FMC）の会長として年次チャリティゴルフトーナメントを設立、現在も役員の一人として学生との懇談や欧米の元議員との交流を活発に行う。

1971 年に東ミシガン大学を卒業後、ウェイン州立大学法科大学院を修了。1975 年から 1980 年までミシガン州下院議員を 3 期務めた。